

平成28年度 第4回公立大学法人公立鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成29年1月20日(水) 10:00~11:40
- 場 所 公立鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、河原正彦委員、若原道昭委員、岡部哲彦委員、林田英樹委員、藤縄匡伸委員、吉田圭子委員 [7名/10名]
山崎安造監事 [1名/2名]
- 欠席者 今井正和委員、山田憲典委員、渡邊良人委員、湯原裕子監事

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 平成28年度補正予算(第3回)について

理事長から、岡山オフィスの移転経費に係る平成28年度補正予算案件について説明があり、原案のとおり承認された。

(2) 翌年度以降の債務負担行為について

理事長から、平成29年度春期の広報費などに係る債務負担行為案件について説明があり、原案のとおり承認された。

3 協議事項

(1) 平成29年度当初予算(案)について

理事長から、平成29年度当初予算案の概要について説明し、委員から意見を伺った。

<主な意見等>

- ・大学評価委員会の意見にもあるように環境大学ならではの特徴づくりを要望したい。
→ 社会がどのような人材を求めているのか。その中で環境とどう関わっていくのが良いのかという視点で大学の特徴について考えていきたい。
- ・ガスヒートポンプエアコンの更新工事が予定されているが、今後、こうした経費をどのように見込んでいるか。
→ 今年度、長期の施設修繕見込みについて検討した。耐用年数を経過する設備も出てきているが、設備の状況を見ながら必要なものについて修繕を行っていきたい。
- ・県内就職者が少ないことについては、県内の産業側にも問題があると考えており、経営者の意識改革に取り組みはじめた。また、鳥取は賃金が低いと言われるが、生活費の収支差は東京とほぼ同じになるというデータがあり、日銀松江支店や県庁が資料を作成しているので参考にしてほしい。
→ 給与を上げるのが難しくても、職員住宅や住居手当などの制度を設けてもらおうと、県外者が県内企業に就職しやすくなると考えている。
- ・倉吉市で開催されている英語村について、情報があれば参加したかったという意見を聞いた。また、倉吉市でもインバウンド対策に力を入れており英語村のニーズがあると考えている。
→ 英語村について、倉吉市報に掲載してもらうなど広報の仕方を検討したい。
- ・鳥取県中部地震の風評被害をどのように捉えているか。

→ 震災直後の推薦入試では、昨年より志願者がかなり減少しており、少なからず影響はあったものと考えている。県内出身学生への生活支援制度も設けており、対策については、もう少し様子を見てみたいと考えている。

4 報告事項

(1) 近況報告

理事長から、入試実施状況、就職活動状況など大学の近況について報告があった。

<主な意見等>

・教員についても県内志願者が減ってきており、少人数教育ややりがいなどについてPRし、志願者増を働きかけている。

(2) 県内出身学生に対する生活支援制度について

理事長から、先に書面審議により承認された、県内出身学生に対する生活支援制度の概要について報告があった。

(3) 公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について

理事長から、先に書面審議により承認された、公立大学法人公立鳥取環境大学職員給与規程等の一部改正について報告があった。

(4) 育児・介護休業法の改正に伴う関係規程等の一部改正について

理事長から、育児・介護休業法の改正に伴い、公立大学法人公立鳥取環境大学職員就業規則等の一部改正を行う旨の報告があった。

(5) 公立大学法人公立鳥取環境大学非常勤職員等就業規則の一部改正の訂正について

理事長から、昨年度第5回経営審議会において承認された公立大学法人公立鳥取環境大学非常勤職員等就業規則の一部改正に訂正が生じた旨の報告があった。

5 その他

今後の審議会日程について報告した。第5回は、3月17日（金）午前に開催予定。

6 閉 会